

平成25年度
交通事故被害者サポート事業報告書

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付

交通安全対策担当

ま え が き

昨年、道路交通事故によって24時間以内に亡くなられた方は4,373人となり、13年連続して減少しました。また、発生件数及び負傷者数も、平成16年をピークに減少しています。しかしながら、通学路における重大交通事故の発生や65歳以上の高齢者が死者数の過半数を占めるなど、いまだ多くの尊い命が交通事故の犠牲となっております。

平成23年度から始まった「第9次交通安全基本計画」においては、道路交通の安全確保のために講じる施策の8つの柱のひとつとして「被害者支援の推進」が掲げられ、自助グループの活動等に対する支援を始めとした被害者支援の充実強化を図ることとしております。

本事業は、交通事故により深い悲しみやつらい体験を抱える方々が立ち直り、回復に向けて再び歩み出すことができるような土壌を醸成するとともに、その方々の権利・利益の保護を図ることを目的として実施してまいりました。本年度は、事業の実施に加え被害者支援のさらなる充実に向けた事業の方向性についても検討してまいりました。

本年度実施いたしました「交通事故で家族を亡くした子どもの支援に関するシンポジウム」は、初めて公開形式にて開催し、一部報道機関のニュースで日本全国に報道されるなど、子どもの支援の重要性について大きな反響を生みました。また、「自助グループ運営・連絡会議」では、本年度初めて交通事故被害者の当事者団体まで参加者を拡大し、講義及び意見交換を通して自助グループの必要性が再認識されました。

本事業により、少しでも、交通事故の被害者やその家族・遺族の方々への支援の輪が広がり、国民が互いに支え合い、安全で安心して暮らせる社会の形成の一助につながれば幸いです。

最後に、本事業に御尽力いただいた委員の先生方や関係各位に、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

平成26年3月
内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付
交通安全対策担当参事官 山崎 房長

目 次

はじめに	1
I. 目的	1
II. 事業の概要	1
III. 事業の内容	1
IV. 検討会	2
1. 目的	2
2. 検討内容	2
3. 委員	2
4. 開催概要	3
第1章 交通事故で家族を亡くした子どもの支援に関するシンポジウム.....	5
I. 目的	7
II. 開催概要	7
III. 実施内容	9
1. 基調講演「子どもと死ーその理解と支援ー」.....	9
2. 講演「家族を亡くした子どもの親としてー子育ての悩みや支援についてー」..	17
3. パネルディスカッション「子どもの頃に交通事故で家族を亡くすということ」	22
IV. まとめと今後の方向性.....	30
1. まとめ	30
2. 今後の方向性.....	31
第2章 交通事故で家族を亡くした子どもの支援に関する意見交換会.....	33
I. 目的	35
II. 概要	35
III. 体制	35
IV. 開催日程	36
V. プログラム	36
VI. 実施内容	37
1. 三重県交通事故で家族を亡くした子どもの支援に関する意見交換会.....	37
2. 和歌山県交通事故で家族を亡くした子どもの支援に関する意見交換会.....	50
VII. 子どもの支援に関する意見交換会のまとめと今後の方向性.....	63
1. まとめ	63
2. 今後の方向性.....	65
第3章 自助グループ運営・連絡会議.....	67
I. 目的	69
II. 出席者	70

III. 開催日時及び会場.....	70
IV. プログラム	70
V. 自助グループ運営・連絡会議の内容.....	72
1. 講義：交通安全対策の現状と課題.....	72
2. 講義：犯罪被害者等施策の現状と課題.....	72
3. 講義：交通事故被害者遺族の悲嘆とケア.....	72
4. 被害者自助グループに参加する意義及び質疑応答.....	72
5. 講義：犯罪被害者支援の歴史とその意義、今後の課題.....	80
6. 分科会（3つのグループに分かれての意見交換及び情報提供）	84
7. 総括	93
VI. 自助グループ運営・連絡会議のまとめと今後の方向性.....	94
1. まとめ	94
2. 今後の方向性.....	95
第4章 各種相談窓口等意見交換会.....	97
I. 目的	99
II. 概要	99
III. 体制	99
IV. 開催日程	100
V. プログラム	100
VI. 実施内容	101
1. 沖縄県各種相談窓口等意見交換会.....	101
2. 青森県各種相談窓口等意見交換会.....	105
3. 山口県各種相談窓口等意見交換会.....	107
VII. 各種相談窓口等意見交換会のまとめと今後の方向性.....	109
1. まとめ	109
2. 今後の方向性.....	110
第5章 総括	111
参考資料	117
I. 交通事故で家族を亡くした子どもの支援に関するシンポジウム.....	119
1. シンポジウムアンケート調査結果.....	119
2. シンポジウムアンケート調査票.....	124
II. 交通事故で家族を亡くした子どもの支援に関する意見交換会.....	126
1. 長尾こころのクリニック 院長 長尾圭造氏 講義要旨.....	126
2. 兵庫県こころのケアセンター 副センター長 亀岡智美氏 講義要旨.....	138

はじめに

(平成25年度事業の概要)

．目的

交通事故被害者等（交通事故^{*}により害を被った者及びその家族または遺族をいう。以下同じ。）が、深い悲しみやつらい体験から立ち直り、回復に向けて再び歩み出すことができるような土壌を醸成し、交通事故被害者等の権利・利益の保護を図ることを本事業の目的とする。

※ここでいう交通事故とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）をいう。

．事業の概要

平成25年度は、以下の事業を実施した。

- ① 本事業の目的の達成に資するため、交通事故被害者等に接する立場にある者の資質を向上させるとともに、交通事故被害者等の自助グループ（「同じようなつらさを抱えた者同士が、お互いに支え合い、励まし合う中から、問題の解決や克服を図り、被害に遭う前の平穏な生活を再び取り戻す」ことを目的に集うグループのことをいう。以下同じ。）に対する支援を行なった。
- ② 子どもの頃に交通事故で家族を亡くした子どもの支援に向けて、広く一般に情報提供することを目的として、シンポジウムを開催した。
- ③ 交通事故被害者や交通事故で家族を亡くした子どもの支援に向けて、地域の関係者の意思疎通を図るため、意見交換会を実施した。

．事業の内容

本事業の目的を踏まえ、平成25年度に行なった事業内容については、以下のとおりである。

- ① 交通事故で家族を亡くした子どもの支援に関するシンポジウム
- ② 交通事故被害者サポート事業検討会
- ③ 自助グループ運営・連絡会議
- ④ 各種相談窓口等意見交換会
- ⑤ 交通事故で家族を亡くした子どもの支援に関する意見交換会

なお、本事業は、いずれも内閣府が日本PMIコンサルティング株式会社に委託して実施した。

．検討会

1．目的

被害者学、精神医学、被害者支援、遺族心理に関する有識者からなる交通事故被害者サポート事業検討会を設置し、平成 25 年度交通事故被害者サポート事業の実施方針、実施方法、事業総括等について検討することを目的とする。

2．検討内容

平成 25 年度交通事故被害者サポート事業の実施方針、実施方法、事業総括等の決定及び各事業の進捗状況の管理を行なうとともに、事業実施報告書等を作成した。

3．委員

当検討会の委員は、以下のとおりである（敬称略）。

- ・常磐大学大学院被害者学研究科教授 富田信穂（座長）
- ・飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会幹事 井上郁美
- ・認定特定非営利活動法人全国被害者支援ネットワーク顧問 大久保恵美子
- ・独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所成人精神保健研究部
犯罪被害者等支援研究室長 中島聡美
- ・内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付 交通安全対策担当参事官 山崎房長

4 . 開催概要

平成 25 年度の本事業における検討会では、以下のことが行われた。

(1) 第 1 回検討会 (平成 2 5 年 9 月 2 4 日)

- ① 今年度事業計画の検討
- ② 自助グループ運営・連絡会議事業計画の検討
- ③ 各種相談窓口等意見交換会事業計画の検討
- ④ 交通事故で家族を亡くした子どもの支援に関する意見交換会及びシンポジウムの事業計画の検討

(2) 第 2 回検討会 (平成 2 6 年 2 月 1 0 日)

- ① 自助グループ運営・連絡会議の結果の報告
- ② 各種相談窓口等意見交換会の結果の経過報告
- ③ 交通事故で家族を亡くした子どもの支援に関するシンポジウムの結果の報告
- ④ 交通事故で家族を亡くした子どもの支援に関する意見交換会の経過報告
- ⑤ シンポジウム映像資料案の検討
- ⑥ 事業報告書素案の報告

(3) 第 3 回検討会 (平成 2 6 年 2 月 2 5 日)

- ① シンポジウム映像資料案の検討
- ② 事業報告書最終案検討
- ③ 本年度事業総括

